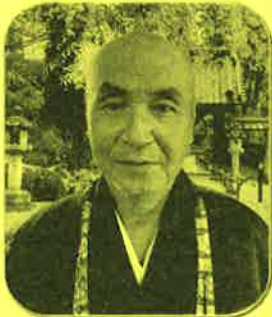


## いばらきサポート協会だより

第18号

発行 いばらき障害者生活  
サポート協会  
事務局 水戸市千波町1918  
茨城県総合福祉会館1F  
一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会内  
TEL 029-244-9701  
FAX 029-243-4429

ごあいさつ いばらき障害者生活サポート協会 理事長 住田 福祉



会員の皆様には、日頃から私ども「いばらき障害者生活サポート協会」の事業推進にご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

おかげさまを持ちまして、協会の会員数も、関係者の皆様方のご尽力により、年々増加し、現在約4千2百名となっております。全国生活サポート協会（会員数約14万6千名）、また代理店の㈱ジェイアイシーと一体となって、引き続き会員の皆様方のために、各種の取り組みを進めて参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、世界中でまん延しております新型コロナウイルス感染症も、次々と新たな変異株が出現するなど、一向に終息が見通せない状況にあります。こういった中で、障害者の皆様はじめご家族の皆様方が安心して日常生活を送るには、ワクチン接種を行うほか、マスク着用などの基本的な感染対策を続けていく必要があるものと考えております。

また、グローバル化が進展している現代社会においては、今回の新型コロナウイルス感染症にとどまらず、様々な感染症などのリスクが今後とも懸念されております。さらには、地球温暖化の影響などにより自然災害も激甚化しており、日常生活を取り巻く様々なリスクに備えていくことがこれまで以上に大切であると思っており、生活サポート総合補償制度が、その一助となれば幸いです。

協会といたしましては、今後とも、「安全、安心の確保」を基本に、茨城県心身障害者福祉協会、茨城県手をつなぐ育成会など関係者の皆様方と連携をしながら、生活サポート総合補償制度の普及推進や福祉に関する各種助成、研修会の開催などを実施してまいります。

本年も、会員の皆様、ご家族の皆様の変わらぬご愛顧をどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 事業報告

○いばらき障害者生活サポート協会通常総会は 新型コロナウイルスの感染予防のため、開催を中止し、書面議決とさせていただき、議案（令和2年度事業報告、令和3年度事業計画）は、全て承認されました。

○第15回関東甲越ブロック会議（埼玉県サポート協会）は新型コロナウイルス感染予防の為、オンライン会議（令和3年11月18日）となりました。

## 助成事業報告

◇障害者の日常生活にかかわる相談・支援に関する事業として「第8回茨城県障害者・高齢者フライングディスク競技大会」は新型コロナウイルスにより中止となりました。

◇障害者の就労に関わる相談・支援に関する事業、障害者の権利擁護に関する事業として、茨城県手をつなぐ育成会研修会へ助成をしました。今年度は感染予防対策のため、参加者を限定して開催となりました。

○令和3年11月4日（木）令和3年度研修会

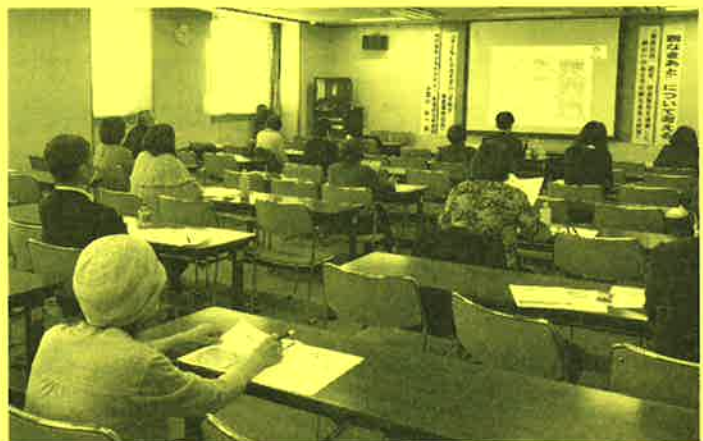
：演題「家族信託、遺言、任意後見を活用した障がいのある子の親なきあと対策」

「お子さまにお金を安心して残す生命保険信託」

講師 （株）ジェイアイシー 生保信託企画推進部

・部長 御子柴 大樹 氏

・主任 小宮山 純一 氏



## ◆障害者なんでも相談室◆

障がいのある方やその家族の方からの生活・福祉などの諸問題に関する相談に電話・FAX 又は来所により応じます。

T E L 029-244-9588

時 間 平日 午前9時～12時、午後1時～午後4時半まで

## ◆茨城県障害者権利擁護センター◆

障害者虐待に関する相談窓口です。

T E L 029-353-8663

時 間 平日 午前9時～午後5時まで

生活サポート総合補償制度の

### 【新型コロナウイルス感染症特別措置】

医療機関の事情により入院できなかった場合等における入院給付金の取り扱い

1. 新型コロナウイルス感染者が、治療のために入院が必要にもかかわらず、医療機関・医師の指示に基づき、臨時施設(※)や障害者支援施設(入所施設等)または自宅で入院と同等の療養をした場合、入院の場合と同様に、下記2の保険金をお支払いします。

(※)厚生労働省が2020年4月2日に、地方公共団体に対して、無症状・症状の軽い新型コロナウイルス感染者を「宿泊療養」、「在宅療養」とするための準備に関して通知しましたが、この「宿泊療養」のための宿泊施設を含みます。

2. 対象商品

<対象となる保険金(※)とお支払いの可否>

	病院または臨時施設	障害者支援施設(入所施設等)	自宅
傷害疾病入院一時金	○	○	○
傷害疾病入院諸費用保険金	○	○	○
傷害疾病室料差額費用保険金	○	○(注1)	×
傷害疾病付添介護保険金	○	×(注2)	×(注3)

(※)新型コロナウイルス感染症以外の病気・ケガで入院が必要だが、新型コロナウイルスの影響による病床不足のため、施設・自宅等で療養する場合は上記保険金に加え「入院保険金」にも、原則この特別措置を適用します。その場合、医師が施設・自宅等での療養を指示したことに加え、入院と同等の療養を行った事実を、医師の書面による証明により確認させていただき、慎重に判断・適用します。

(注1)感染拡大防止のために臨時で個室を利用する等の理由で、通常負担している金額以上の費用を被保険者が負担した場合は、その費用を負担した日数に対して保険金をお支払いします。通常支払っている費用(施設に毎月払う利用料など)以外の負担がない場合は、お支払いの対象となりません。

(注2)この保険金は、介護人が被保険者の療養している場所に向いて、付添介護を行う場合にお支払いします。施設職員の付添介護については、職員が施設外に向いて付添介護を行うわけではないことから、対象となりません。親族の付添介護については、感染防止のため親族は施設に入れない可能性が高く、通常発生しないと考えます。ただし、実際に親族が施設に向いて付添介護を行った場合や、被保険者・親族が臨時で雇い入れた介護人が付添介護を行い、その事実を客観的に確認できる場合は、保険金をお支払いします。請求の際は、施設での療養を医師が指示した事の証明に加え、上記の状況が確認できる書類を提出いただく必要があります。

(注3)自宅療養の場合、親族が自宅から向いて付添介護を行うわけではないことから、対象となりません。ただし、自宅で同居の親族以外の方が付添介護を行った場合や、専門の介護人を雇い入れた場合は、保険金をお支払いします。請求の際は、自宅での療養を医師が指示したことの医師の証明に加え、上記状況が確認できる書類を提出いただく必要があります。

3. 必要書類

通常の保険金請求書類に加えて、医療保険用の診断書または「入院・付添介護状況・室料差額費用申告書」をご利用いただき、①～③についてご記入をお願いします。(お支払いする保険金が10万円以下の場合には診断書代金もお支払いしますので領収書を合わせてご提出ください。)

- ①医師が入院と同等の療養が必要と判断し、臨時施設・障害者支援施設・自宅での療養を指示したこと
- ②臨時施設・障害者支援施設の名称・住所
- ③臨時施設・障害者支援施設・自宅で療養した期間

※その他状況の確認に必要な書類のご提出をお願いする場合がございます。ご請求の内容に応じて、個別にご案内させていただきます。(裏面へ続く)

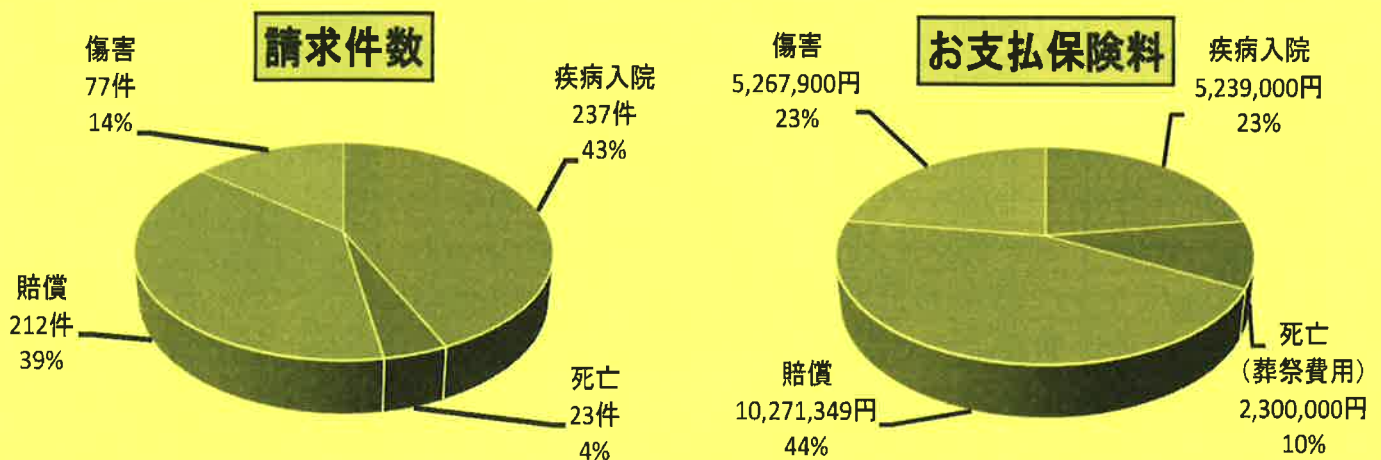




## 生活サポート総合補償制度保険金支払い状況 (当協会会員)

2020年度請求件数

疾病入院	237 件	5,239,000 円
死亡(葬祭費用)	23 件	2,300,000 円
賠償	212 件	10,271,349 円
傷害	77 件	5,267,900 円
計	549 件	23,078,249 円



&lt;こんな時は「いばらき障害者生活サポート協会」までご連絡下さい。&gt;

☆パンフレット一式

- ・保険に加入したい・パンフレットがほしい・払込取扱票(中途加入のみ)を送ってほしい

☆変更届

- ・施設を変えた・加入依頼者を変更したい・引越しをした

☆保険請求書類

- ・ケガで通院したので請求したい
- ・入院したので請求したい・他人のものを壊してしまった

## 【保険内容・請求の問い合わせ先】

&lt;担当代理店&gt; 株式会社ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビル 2号館2F

TEL:03-5321-3373 FAX:03-5321-4774

## 【発行】

いばらき障害者生活サポート協会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町 1918 番地 茨城県総合福祉会館1階

一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会内

TEL:029-244-9701 FAX:029-243-4429

<http://www.harness.jp/support/top.html>



いばらき障害者生活サポート協会決算及び予算

令和2年度収支決算

1.運営の部

(1)収入の部

(単位:円)

科目	最終予算額	決算額	差異
会費収入(制度運営費分)	10,122,000	10,114,860	7,140
(1)Aプラン	6,425,670	6,423,170	2,500
(2)Bプラン	2,944,980	2,942,500	2,480
(3)Cプラン	751,350	749,190	2,160
事業収入	0	0	0
助成金収入	146,000	145,805	195
雑収入	6,000	1,054	4,946
繰入金収入	0	0	0
当期収入合計(A)	10,274,000	10,261,719	12,281
前期繰越収支差額	1,780,000	1,780,145	△ 145
収入合計(B)	12,054,000	12,041,864	12,136

(2)支出の部

(単位:円)

科目	最終予算額	決算額	差異	科目	最終予算額	決算額	差異
事業費	150,000	150,000	0	印刷製本費	250,000	394,883	△ 144,883
(日常生活)	0	0	0	賃借料	460,000	459,088	912
(就労)	100,000	100,000	0	諸謝金	0	0	0
(権利擁護)	50,000	50,000	0	租税公課	0	0	0
管理費	10,520,000	10,561,766	△ 41,766	全サボ年会費	815,000	814,700	300
賞金	2,210,000	2,215,032	△ 5,032	振込手数料	100,000	83,386	16,614
賞与	249,000	248,850	150	支部手数料	658,000	658,047	△ 47
共済費	426,000	417,728	8,272	支払助成金	4,000,000	4,000,000	0
福利厚生費	10,000	9,130	870	雑費	10,000	823	9,177
会議費	2,000	1,660	340	特定預金支出	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	積立預金支出	0	0	0
通信運搬費	700,000	636,152	63,848	予備費	384,000	0	384,000
消耗什器備品費	0	0	0	当期支出合計(C)	11,054,000	10,711,766	342,234
消耗品費	130,000	123,090	6,910	当期収支差額(A)-(C)	△ 780,000	△ 450,047	△ 329,953
委託費	500,000	499,197	803	次期繰越収支差額(B)-(C)	1,000,000	1,330,098	△ 330,098

2.保険料の部(収支)

(単位:円)

科目	最終予算額	決算額	差異
預り保険料	76,234,000	76,174,890	59,110
(1)Aプラン	43,581,560	43,564,560	17,000
(2)Bプラン	26,854,720	26,832,000	22,720
(2)Cプラン	5,797,720	5,778,330	19,390

令和3年度収支予算

1.運営の部

(1)収入の部

(単位:千円)

科目	当初予算額	前年度当初予算額	増減
会費収入(制度運営費分)	10,244	10,282	△ 38
(1)Aプラン	6,210	6,546	△ 336
(2)Bプラン	3,193	2,977	216
(2)Cプラン	841	759	82
事業収入	0	0	0
補助金等収入	100	0	100
雑収入	10	10	0
積立預金取崩収入	2,000	0	2,000
繰入金収入	0	0	0
当期収入合計(A)	12,354	10,292	2,062
前期繰越収支差額	1,000	1,500	△ 500
収入合計(B)	13,354	11,792	1,562

(2)支出の部

(単位:千円)

科目	予算額	前年度当初予算額	増減	科目	予算額	前年度当初予算額	増減
事業費	447	447	0	印刷製本費	250	235	15
(日常生活)	190	190	0	賃借料	460	331	129
(就労)	207	207	0	諸謝金	30	30	0
(権利擁護)	50	50	0	租税公課	1	1	0
管理費	11,790	6,947	4,843	全サボ年会費	826	831	△ 5
賞金	2,225	2,451	△ 226	振込手数料	100	100	0
賞与	251	249	2	支部手数料	658	713	△ 55
共済費	425	374	51	支払助成金	5,000	60	4,940
福利厚生費	10	8	2	雑費	10	50	△ 40
会議費	50	165	△ 115	特定預金支出	0	3,000	△ 3,000
旅費交通費	114	162	△ 48	積立預金支出	0	3,000	△ 3,000
通信運搬費	700	670	30	予備費	117	398	△ 281
消耗什器備品費	50	50	0	当期支出合計(C)	12,354	10,792	1,562
消耗品費	130	30	100	当期収支差額(A)-(C)	0	△ 500	500
委託費	500	437	63	次期繰越収支差額(B)-(C)	1,000	1,000	0

2.保険料の部(収支)

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
預り保険料	77,746	77,394	352
(1)Aプラン	42,119	44,391	△ 2,272
(2)Bプラン	29,127	27,127	2,000
(3)Cプラン	6,500	5,876	624